

公表内容

6月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、輸送機械工業、化学工業などが上昇したことから、2か月ぶりのプラスとなった。

○概況

生産、出荷、在庫はすべて上昇で推移

◆6月の主な数値の動向（調査産業計）

	季節調整済指数			原指数		
	総合指数	前月比(%)		指数	前年同月比(%)	
生産	112.2	3.2	2か月ぶり+	120.5	2.9	4か月連続+
出荷	116.9	5.3	2か月ぶり+	125.4	1.9	3か月ぶり+
在庫	95.7	0.8	3か月連続+	97.9	▲ 7.6	10か月連続-
在庫率	82.8	▲ 0.8		80.2	▲ 12.3	

○生産指数は、季節調整済指数で、2か月ぶりプラス、原指数で、4か月連続のプラスとなった。

○出荷指数は、季節調整済指数で、2か月ぶりプラス、原指数で、3か月ぶりのプラスとなった。

○在庫指数は、季節調整済指数で、3か月連続のプラス、原指数で、10か月連続のマイナスとなった。

○総合指数前月比の伸び率（上昇又は低下）に影響を与えた主な業種

<生産> 上昇：輸送機械工業 (7.8%)、化学工業 (19.6%)

<出荷> 上昇：輸送機械工業 (7.7%)、化学工業 (13.2%)

<在庫> 上昇：化学工業 (15.7%)、電気機械工業 (6.5%)

○前月比が最も大きかった業種

<生産> 上昇：情報通信機械工業 (36.8%) / 低下：食料品工業 (▲ 5.5%)

<出荷> 上昇：情報通信機械工業 (60.5%) / 低下：金属製品工業 (▲ 5.8%)

<在庫> 上昇：電子部品・デバイス工業 (23.1%) / 低下：その他製品工業 (▲ 53.8%)